

**本時のねらい**

・ペアで「この人を知っていますか」というテーマで3ヒントクイズを出し、さらに相手からの質問に答えることができる。

**本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい**

・Zoomを使い、校区の小学生とつながることで、離れた場所でもリアルタイムに意見交換ができる。  
 ・ロイノートでカードで画像や資料を配付することで、データとして保存され、自分のペースで繰り返し学習できる。  
 ・タブレットを活用することで、動画や画像を提示しやすくなり、より視覚的にとらえることができる。

**活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等**

・iPad                      ・ロイノート                      ・Apple TV                      ・テレビモニター                      ・Zoom

**本時の展開**

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつ</li> <li>・聞きトレ 64→簡単アクティビティ (日常生活について)</li> </ul>	
展開 (37分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書単語チェック (ペアワーク)</li> <li>・スピーキングテスト練習 (ペアワーク)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>■パターン1 What food do you like? - I like ...</li> <li>■パターン2 写真を見て、それを描写する。 There is a window in the room.</li> <li>■パターン3 How do you come to school? - I walk.</li> </ul> </li> <li>・小学生とZoomで“Who is this person?”のゲームをする。 ペアで児童1人について3ヒントクイズを作成し、1人は司会者として第三人称で児童を紹介、もう1人はその児童になりきって一人称で小学生からの質問に答える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロイノートで資料を手元に置くことで安心して会話練習ができる。</li> <li>・ロイノートで送られた画像を何度も見ながら、相手の絵に描かれたことを説明する。</li> <li>・Zoomを使い、小学生とつながることで、離れた場所でもリアルタイムに意見交換ができる。</li> <li>・Zoomでつながることで、小学校の先生からの英語での問いかけに耳を傾け、英語で答えたり、リアクションを返したりするなど、即興でのやりとりができる。</li> </ul>
まとめ (3分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生へのお礼</li> <li>・あいさつ</li> </ul>	

**1人1台端末を活用した活動の様子**



ロイノートのカードを見ながら、ペアで質問し合っている場面。



送られた画像に描かれているものを英語で描写し、ペアの相手に伝えている場面。



Zoomで小学生に3ヒントクイズを出題し、質問されたことに答えている場面。

**児童生徒の反応や変容**

生徒たちは発表者に注目し、小学生からの質問にも耳を傾けることができていた。中学生にとって、伝えたい情報を目の前の人だけでなく、モニター画面を通して、離れた相手にも伝えられたことは良い経験になり、自信につながった。

**授業者の声～参考にしてほしいポイント～**

・Zoomなどのシステム的な障害発生の可能性があるため、対処法を考えておく必要がある。  
 ・今回はタブレット1台ずつで繋がり授業を行ったが、発表者以外も主体的に活動できる内容を考えることが難しかった。  
 ・小・中学校共に学習進度状況を把握し、うちあわせしておく必要がある。  
 ・ICTへの関心を高め、英語だけでなく他の授業にも応用していきたい。